例

土　壌　分　析　診　断　書

TEST1　　殿

作　成　日　　令和5年7月1日
作成者(分析機関)　　北部地区土づくり推進協議会
持込機関・担当名　　普及課

診て安心、育てて感心、土づくり。

番号	年度	市町村	地番など	土壌	栽培予定作物	栽培様式	栽培面積(a)	作土深(cm)	容積比重	目標基準値
1	2015	名護市	A	国頭マージ	ゴーヤー(ニガウリ)	施設畑	10	15	1.10	作物別基準

2. 土壌診断結果

分析項目	(単位)	分析値	適正範囲 下限		適正範囲 上限	判定 低い	判定 適正	判定 高い
pH		5.9	5.5	～	7.0			
EC	mS/cm	0.4	0.0	～	0.5			
交換性石灰	mg/100g	156	117	～	235			
交換性苦土	mg/100g	40	45	～	77			
交換性加里	mg/100g	67	13	～	30			
可給態リン酸	mg/100g	120	20	～	75			
腐植	%	2.0	2.0	～	5.0			
CEC	me/100g	12.0	土壌固有値					
石灰苦土比	Ca/Mg	2.8	3.0	～	6.0			
苦土加里比	Mg/K	1.4	2.0	～	4.0			
推定硝酸態窒素	mg/100g	6.0	0.0	～	5.0			

備 考:　生育悪い。白絹病多。

3. 土壌改良資材の投入量 (必ず下記のコメントを読んで下さい)

資材名	肥料名	10a・10cmの場合	1圃場の場合
苦土石灰	苦土石灰	210 kg	320 kg
石灰	炭カル	0 kg	0 kg
苦土	硫マグ	80 kg	120 kg
加里	硫酸加里	0 kg	0 kg
りん酸	BMようりん	0 kg	0 kg

4.塩基飽和度及び塩基バランス

塩基飽和度%	石灰飽和度%	苦土飽和度%	加里飽和度%
75	46	17	12
塩基バランス(分析値比率)	3.9	1.4	1.0
塩基バランス(目標理想比率)	–	–	–

5. 総合所見

苦土成分が少ないようです。苦土資材を入れ改善するようにして下さい。

ＥＣ値による基肥施肥判断	基肥の窒素量は、基準どおり施肥を行って下さい。
作物の土壌条件	ゴーヤーは、土壌の適応範囲は広く、排水良好な壌土に適します。酸性土壌には適さないので、PH 5.5～7.0の範囲に矯正するようにしましょう。

6. 資材投入へのコメント

石灰資材	苦土石灰の計算上の投入量が210kg/10aとなりましたが、１度に施用すると急激な変化を起こす恐れがありますので、本年は200kg/10aを上限とし、１年後に再度土壌診断を行い、施用を行って下さい。
苦土資材	苦土成分が少ないようです。苦土は葉緑素の重要構成成分の一つです。不足すると葉緑素が減少し、葉の黄化が現れ、生育不良となりますので、入れるようにして下さい。
加里資材	
リン酸資材	土壌中にリン酸が十分にあります。リン酸は控えめにして下さい。
有機物資材	腐植含量は適正範囲となっております、土づくりの観点から毎作2t/10aを目安に施用し、今後もこの水準を維持して下さい。
塩基飽和度について	理想とする塩基飽和度は60～90%、石灰飽和度:60～75%、苦土飽和度:15～20%、加里飽和度:4～10%とされており、また石灰苦土比:2以上、苦土加里比:2以上になるように維持して下さい。